

会議録

- 1 附属会議の名称
令和6年度第1回犬山市子ども・子育て会議
- 2 開催日時
令和6年8月1日（木）午後2時00分～3時30分まで
- 3 開催場所
市役所2階 205会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 関谷みのぶ、橋村晴美、浅岡正視、森資子、長谷川朋子、山田麻美、暮石綾子、中西芙美香、布目訓久、新井里恵、寺沢有規、榊原吉峰、永濱奈穂、岡田正順、木村和美、大澤秀教、沼靖子
 - (2) 執行機関 原市長、小幡子ども・子育て監、青山子育て支援課長、上原子ども未来課長、中村子育て支援課主幹、大澤子育て支援課長補佐、古田健康推進課長補佐、佐野（Next-i 株式会社）、高橋（Next-i 株式会社）
- 5 議題
 - (1) 議題1 第1期犬山市こども計画策定について
 - (2) 報告1 アンケート結果について
 - (3) その他
- 6 傍聴人の数
1人
- 7 内容

【事務局：青山】

定刻になりましたので、只今より犬山市子ども・子育て会議を開催させていただきます。

進行は健康福祉部子育て支援課長の青山が務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日、委員の皆さまにおかれましては、公私ともお忙しい中、この会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、この度は、委員就任を快くご承諾いただき、誠にありがとうございました。

それでは、はじめに委嘱状の伝達を行います。

本来ならば、市長が、委員の皆様お一人お一人に委嘱状をお渡しすべきところではありますが、時間の都合上、皆様のお手元に委嘱状を置かせていただいておりますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

委員の任期は、7月1日から翌年6月30日までとなります。

本来ならば、任期の早い時期に委嘱状をお渡しすべきところではありましたが、事務局の都合で本日まで会議の開催が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

【事務局：青山】

それでは会議の開催に先立ちまして、原市長からあいさつを申し上げます。

【原市長】

皆さん、改めてこんにちは。本当に暑いですね。皆さん夏バテ大丈夫でしょうか。

その暑さを少しでも吹き飛ばしていただければとの思いで、今日8月1日から8月10日まで木曽川河畔にてロングラン花火がいよいよスタートいたします。花火だけではなくて、1日300発、10分ほどではありますが、内容は毎日違い、それぞれテーマを決めてやっていますので、その違いも感じていただきながら楽しんでいただければと思います。

また、マルシェも開催しながら、犬山朝市組合の方、またそこに住む内田の子どもたちが大好きな木曽川のために何かできないかとの思いで、8月2日、3日こどもたちにも楽しんでもらおうっていう思いで、水鉄砲の射的を考えたり、シャボン玉でこどもたちに楽しんでもらおうという企画も考えていますので、ぜひぜひお立ち寄りをいただければと思います。よろしくお願いいたします。ご紹介させていただきます。

さて、皆さんには日頃から犬山のこどもたちのためにご尽力、ご協力いただき心から感謝申し上げます。

この会は、私たち犬山にとってこれからもこどもたちの成長のために、そしてママさん、パパさんの子育てを応援するために、どうあるべきかという方向性を示していかなければならない重要な内容を皆さんで色々議論してもらって、犬山の方向性を定めていくものであります。

その中で、今年度は、子ども子育ての計画を作る年でありまして、その上位計画でもありますこども計画にもその内容を入れ込んで、これからのこどもたちに関わる犬山の未来像、道しるべを皆さんと一緒に考えていくものであります。そのために、昨年 子育てに関する調査、ニーズ調査をさせていただきました。

また、ヤングケアラーの現状を確認するためにヤングケアラーの調査もいたしました。

またさらに、今年5月になりますけれども、タウンミーティングという形で、子ども子育てをテーマにこどもたちやママさん、パパさんに集っていただきながら、これからの犬山のこどもたち、子育てに関する思いを色々とお聞かせをいただきました。

そうしたものをまとめて、全体の骨子を今日皆さんにはお示しをさせていただきますので、その中で皆さんの思い、考えを大いに発信をしていただければというふうに思っています。

そのタウンミーティングの時も非常に色々なお話が出て、いい時間を過ごすことができました。小学校や中学校のこと、そして未来園。これからどんどん建て替えて、こども達の環境をこれから考えていかなければなりません。また、これだけ暑い日が続くようになります。こどもたち外で遊びたくても遊べない、天候を気にせずとも遊べる場として、ヨシヅヤさんの2階をお借りして、1400平米ほどであります、その中で屋内型のキッズスペースを展開していきたいという風に思っていますので、そんなお話なんかをさせていただき、改めて犬山のママさんパパさんの子育て、そしてこどもたちに対する強い思いを感じさせていただきましたので、その思いを皆さんにお知らせしながら、またそこに皆さんの考えをパワーアップして、付け加えることによって今後の方向性を示していきたいという風に思っていますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

そして、もう1つ申し上げなければなりません。子育て、そしてこどもたちを守っていくということで、5月に7歳の女の子が亡くなるという事故、事件が発生をいたしました。もう本当に女の子の命を守れなかったことに申し訳なく思っていますけども、まずはその女の子の幼い命と尊い命に向き合って、寄り添って、2度とこんなことが起こらないように犬山市として対策を考えていかなければならないと思っています。

ありがたいなと思ったことがございます。何かと言いますと、事件を受けて小学校の保護者の皆さんに説明会を開催いたしました。その時に多くの保護者の皆さんから出た言葉は、私たちもこどもたちを守ることを一緒に考えていきたい。何かできることはありますかという声が多く聞かれました。本当にありがたい。犬山のママさん、パパさんだと思いました。本当に子どもたちのことを考えてくれている犬山のママさんパパさんだと思いました。まさに、これからの地域教育のあり方も考えていかなければならないという思いにさせられる一幕であります。

また、その中で私たち犬山としてやらなければならないこと、私たち犬山の役割は何なのかというと、児童相談所と連携をして、児童相談所からお話を受け、もし女の子の体に傷やあざがあった場合は報告をしてください。その報告の役割が私たち犬山の役割でした。でも、こうなった時に、本当にそれでよかったんだろうかと改めて考えさせられますし、改めて何ができるのか、何が足らなかったのかを考えていかなければならないと思っています。

女の子の対応については、要対協、要保護児童対策協議会の中で考えられていました。報道でご承知の方も多いと思いますが、検証は、所管であるのは児童相談所です。愛知県が第三者委員会を立ち上げて検証をこれから進めていきますが、そこに甘えるつもりはありません。犬山として検証していかなければならないと思っています。

ですから、その要対協の中で検証をしていきますが、そのメンバーは市内を中心とするいわゆる身内のメンバーでありますので、適正な検証をするために、その中に複

数の第三者の方に入っていただき、適切で正確な検証ができるように考えていきたいと思っています。

何ができるのかと思った時に、犬山の市民の皆さんの色々な情報、データを持っています。いわゆるビッグデータです。ですから、万が一いじめが、虐待が確認され、怪しいと思うのであれば私たちは色々確認することができるけども、今回はそれをする事ができなかった。例えば、小さい頃から検診等を重ねています。その時に本当に問題はなかったのかということが確認できます。また、他の市町に対しても情報提供を求めれば 情報を得ることができる。そうした連携もできたのではないかと、今となって様々考えさせることであります。その思いを検証しつつ、これからも犬山モデルと言われる対応マニュアルを考えていきたいと思っています。そして、繰り返しますがその第三者も入れて、要対協の中でしっかり検証していく。このことを徹底して行っていきたいと思っています。

まだ細かくは申し上げませんが、着実に内容等を詰めながら前に進めていますので、また皆さんに我々のお思いが形にできた時に、しっかりお示しをしていきたいと思っていますので、また色々のご意見をお聞かせいただければと思っています。

改めて、皆さんには心から感謝を申し上げながら、皆さんと一緒に子育て支援をしつつ、こどもたちへ未来の投資をして、犬山の皆さんがいつまでも犬山に住み続けたい、これから犬山に住みたいと思ってもらえるような犬山作りをご一緒していただければと思っています。

どうぞご指導を賜りますようお願いを申し上げまして、私の挨拶に代えさせていただきます。また、他の会がありますので、今日はちょっと挨拶でご無礼しなければなりません。ご了承いただきたいと思います。

今日この後町会長さんの集まりなんです、町会長さんも今困りごとばかりなんです。これも初めての試みですが今までは走る市政教室と言って、町会長さんになっていただくと市の施設を回ってもらってました。しかし、色々な流れが早く、変化が大きいがゆえに、今、町内運営もご承知の通り苦労している町内さんがいっぱいあります。その悩みや困り事を解決するための初めての会をミーティング形式で実施をしていますので、またその場に戻らなければなりませんので、お許しをいただきたいと思います。また委員の皆さんとは改めてこどもたちのことについて議論を深めていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。今日はご了承いただければと思っています。終わります。

【事務局：青山】

ありがとうございました。今申し上げたとおり市長は退席させていただきますので、ご理解いただければと思います。

【原市長】

では、皆さんよろしくお願いします。

【事務局：青山】

はい。それでは、会議に先立ちまして、先ほど市長が挨拶の中で申し上げましたこととなりますけれども、発生いたしました児童の事故、事件について少し経緯を報告させていただきます。

【事務局説明】

【事務局：青山】

それでは、本日の会議に移らせていただきます。今年度初めての会議となりますので、委員の皆様、ご挨拶をお願いいたします。

【委員自己紹介】

【事務局：青山】

はい、ありがとうございます。なお、本日は猪野委員、澤田委員、そして加藤委員が欠席となっておりますのでご了承ください。続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

【事務局紹介】

【事務局：青山】

それでは、議題には入らせていただく前に、資料の確認をさせていただきます。

本日の資料は次第、配席表、委員名簿、子ども・子育て支援法 及び 犬山市子ども・子育て会議条例の写し、資料1と書いてあります国の動向についてホッチキスしたもの、資料2（仮称）第1期犬山市こども計画骨子案、資料3（仮称）第1期犬山市こども計画 施策体系案、資料4 計画策定のスケジュール。冊子ですが、第2期犬山市子ども子育て支援事業計画、同じく冊子で子ども子育てに関するアンケート調査報告書となります。

なお、第2期犬山市子ども子育て支援事業計画につきましては、昨年度から引き続き、委員をされてる方におきましては既にお配りしております。

今年度から新たに委員になられました方に置かれましては本日お持ち帰りいただいて結構でございます。

昨年度からの委員につきましては、もし必要であればお持ち帰りいただき、必要なければその場に残してお帰りください。

資料の不足、欠落等がございましたら申し出てください。よろしいでしょうか。なお、本日の会議ですが、開催時間を1時間半程度と考えております。会議の進行につきましては、皆様のご協力をお願いいたします。

【事務局：青山】

会長が選任されるまでの間、事務局が議事の進行をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議は、20名中17名の委員ご出席をいただいております。過半数に達しておりますので、会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。

それでは、少し犬山市子ども、子育て会議の設置についてご説明をさせていただきます。子ども・子育て支援法の写しをご覧ください。

この会議は、子ども支援法第72条第1項の規定に基づき設置されるもので、処理する事務としましては、幼稚園、保育園、認定こども園の定員に関すること、小規模保育事業や企業所内保育事業の定員に関すること、そして、子ども子育て支援事業計画の策定や変更に関することとなっております。

会議の構成につきましては、条例第3条に規定しています。

それでは、犬山市会議条例第4条第1項の規定に基づきまして、子ども子育て会議の会長及び副会長は、委員の互選により定めることとなっております。

まず、会長の選出につきまして、どなたかご意見はございませんでしょうか。

【榊原委員】

犬山市の保育行政にも造詣が深く、昨年度の会長を務めていただいた関谷先生を推薦いたします。

【事務局：青山】

はい、ありがとうございます。ただいま関谷委員を会長にとのご推薦がございましたが、その他ご意見はございませんでしょうか。

異議ございませんか。ありがとうございます。ご異議がないようですので、会長は関谷委員に決定させていただきます。よろしくお願いいたします。

続きまして、副会長についても委員の互選により定めることとなっております。

選出について何かご意見はございませんでしょうか。

【新井委員】

橋村先生を推薦いたします。

【事務局：青山】

ありがとうございます。ただいま橋村委員を副会長と推薦ございましたが、その他ご意見はございませんでしょうか。

ご異議がないようですので、副会長は橋村委員に決定させていただきます。

よろしくお願いいたします。

それでは、関谷委員、橋村委員は前の会長席、副会長席にお移り下さい。

【事務局：青山】

はい。それでは、関谷会長にご挨拶を頂戴したいと思います。

【関谷会長】

皆様、改めまして、名古屋経済大学の関谷と申します。座らせていただきます。
先ほど市長から、それから青山さんから、この市で起きたことについてのお話等もございましたけれども、この会議としてできることというのは、今犬山で育っている子どもたち、それからこれから生まれてくるであろう子どもたちが、本当に健やかに育つことができ、将来にわたって幸せに生活ができるようにしていく。その社会を犬山の中で作っていこうと、こういったところはずっと変わらず大事にしていかなければならないという風に思っております。

今回、新しい計画を策定するという時期になっておりますが、その計画の中に盛り込むべき何を大事にすべきか、それが私たちみんなが実行に移せるためにはどういったことが必要なのかっていうことをしっかりと、あまり時間がない中でやっていかなければならないかと思っておりますけれども、ぜひ皆さんのお力を集結してやっていけたらいいなと思っております。今回のこの計画策定における会長に非常に重責であるなと思っておりますが、何卒、皆様の協力のもとでしっかりとした計画を策定していきたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

【事務局：青山】

ありがとうございました。それでは、橋村副会長のご挨拶をお願いいたします。

【橋村副会長】

改めまして橋村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私も昨年同様この場に引き続き参加させていただくことで、かなり重責だなと思っております。色々な思いがございますが、とにかくやはり子どもたちのために、今皆様と一緒にできることに参加させていただきながら、明るい未来が築いていけるように、これから皆様と一緒に尽力していきたいと思っております。未熟ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます

【事務局：青山】

はい、ありがとうございました。以降の議事進行につきましては、関谷会長にお願いしたいと思います。それでは、関谷会長、よろしくお願いいたします。

【関谷会長】

では、よろしくお願いいたします。ここからは私が務めさせていただきます。
まず、次第に従って進めていきます。次第の2番目、協議事項になります。協議事項第1期犬山市子ども計画策定について、事務局より説明をよろしくお願いします。

【資料に基づき、事務局説明】

【関谷会長】

ありがとうございました。ただいま事務局よりご説明いただきましたけれども、配付された資料、それから説明の内容等につきまして、何か質問意見等はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。今、事務局より審議をとるところだったんですけれども、本来であれば子ども育て第3期の支援事業計画を策定するということだったものを、政府等、国の方針等も含めまして、こども計画を策定するということに変更していくということですが、その計画策定の変更につきまして、何か意見はございますでしょうか。

では、こども計画を策定するという方向で進めさせていただいてよろしいでしょうか。

ありがとうございました。では、続きまして、報告事項に入ります。

アンケート結果について事務局より説明をお願いします。

【資料に基づき、事務局説明】

【関谷会長】

ありがとうございました。何か質問、意見等ございますでしょうか。

【榊原委員】

ありがとうございました。非常にたくさんの資料がありますので、全てを細かく把握することは難しいですが、最初のこどもまんなか社会というところを書いてある身体的、精神的、社会的に幸福な生活。幸福な生活は人それぞれ感覚が違うと思いますが、やはりこどもたちが毎日充実した生活を送れるかという点を考えていかなければならないと思います。今回、アンケート調査もほとんど保護者の方中心に取られてるアンケートですので、こどもたちにとってそれは本当に有意義なことなのかどうかということもやはり考えていかなければならないし、それから、他の委員会でもありましたけども、やはり精神的に充実して生活できてるかということ。今、こどもたちの状況、先ほどの虐待もそうですけども、いじめ、不登校、いろんな問題が学校生活を送る上で成長を妨げるような状況になっているのではないかなと思います。それを少しでも成長を妨げないような、充実した毎日が過ごせるように、こどもたちが楽しく過ごしてるかどうかという視点をちょっと持った方がいいのかなと。

で、もう1つは、色々な支援策がありますが、利用者があまり増えてないということもあるのではないかと思います。利用されることを躊躇している人もたくさんいるのではないかと思います。子育ては大変ですので、これはもう分かりきったことです。利用することを応援するという立場を持って、利用してくれたことはありがたいと思うような考えで支援策を作っていかなければいけないのではないかと。

利用をもう少し増やして、おそらく親御さんはどうしても子育て、こどもが第1と考えて生活されてると思いますが、お母さんも第1だと。つまり、こども第1ではな

く家族全員が1番だという気持ちで、やはり家族、親御さんも自分の時間が作れるような政策、そういうものも大事じゃないかなとは思っております。

色々な支援策があると思うんですけども、もう少しそれを有意義に活用できてるかという視点をもう少し持って、細かく改善することについても検討してもいいのではないかと思います。おそらくそのことは十分考えてやってらっしゃると思いますけども、政策、支援策が非常にたくさんあるのに、それを利用されてる人がもう少し増えてもいいのかなと、もう少し気軽に利用できるような方法はないのかといつも思っております。

【関谷会長】

ありがとうございました。何か事務局からご質問ではありませんけれども、何か発言ありますか。

【事務局：青山】

ありがとうございます。本当におっしゃるとおりだと思いますので、利用が増えてないってことも確かに考えられます。何かできないかを少し考えたいと思います。ご意見ありがとうございます。

【関谷会長】

その他、何かございますでしょうか。お願いします。

【寺沢委員】

利用者が少ないということで、利用したいと思える場所、犬山市は保育園とか児童センターとか小学校とか全部単体であると思うんですよ。もうちょっと問題が起きた時に、保育園から小学校、小学校から中学校、その周りにおける地域の人々の居場所であったり、児童センターも含めてなんですけれども、統合というか、同じ場所にあるとちょっと行きやすいかなと。

今、保健センターも市役所から遠いし、そういう今後のことだと思うんですけども、何か犬山市は先を見据えて統合を考えているところはございますでしょうか。お願いします。

【事務局：青山】

現状で統合ということはまだ考えていないんですけども、例えば先ほど申し上げたキッズスペースとか新たに作るという話をしたんですが、例えばああいった場所に相談ができるようなところ、お母さん気軽にに行ける場所ですね、そういった意味での複合的な施設、気軽に寄れるような施設を作りたいとは思っています。

キッズスペースも保育士が常駐するというのではなく、相談につきましてはどのようにするのか検討中ですが、例えば保健師さんであったりとか。

【寺沢委員】

1 意見ですが。犬山城の下にあった犬山北児童館がなくなったということで、犬山北小学校地区のこどもたちのいわゆる児童館、児童センターといえる場所がないですけれども、そういうのがそういうスペースの一角にできたり、保健センターのような役割の相談スペースがっていうことだったので、一部の職員の方が、そういうみんなが期待しているスペースの一部分にそういう方がいるってという言葉と、市民としての よりそこに行きたいなとか行きやすいなとか、そこが出来上がっておしまいじゃなくて、そこから色々なところと連携を取ってもらえるような場所になるといいのかなと思います。

【関谷会長】

ありがとうございます。その他、ございますでしょうか。

【沼委員】

今のお母さんたちの感覚で出向いて相談しにいくということももちろんされる方いらっしゃるし、地域で相談する場所があるので相談するようなママがいる、もしくは職場の方がいるとか、そういう身近な人がいる方もいますが、身近な人でも相談しづらいとか、相談していいのかな、これ言ったら迷惑かなとか、色々考えてしまう。あれだけ発信する SNS の時代になって顔が見えなかったら相談できるってということで、大きなチャット形式のところとか、割と盛んに子育て世代のママたちが、言葉だけで相談をし合ってるのを私も覗いたことがあるんですけど。それを地域バージョンみたいなのがあると、顔が見えなくても同じ悩みの人がいるんだとか、こういうところ行ったらよかったんだとか。例えば、私は羽黒地区なんですけど、今お母さんたちがすごく得意であれば、そこをいい場所にしていく、直接体が出向かなくても、よりどころになれる場所というのも、これから考えていく子育て支援かなと私は思います。

そういう視点はいかがでしょうか。

【事務局：青山】

参考とさせていただきます。ありがとうございます。

【関谷会長】

いかがでしょうか。その他、ございますでしょうか。

特にないようでしたら、また。おそらくこれから先、色々細かい 具体的なところが見えてくるかと思いますので、そこにその案が出てくる頃にまたご意見を賜ればと思います。

3 番目の報告事項につきましては、こちらで一旦締めさせていただきます。

次第4 番目になりますけれども、何かこれまでの協議事項、報告事項だけではなく、その他 ぜひこの場でというようなことがございますでしょうか。

【沼委員】

今日ここに来させてもらうのが初めてですが、色々会議に参加させていただくにあって、尻切れトンボになってはいけないと思っているので、前回どういう会議の議論がなされたかなということを極力見るようにしています。議会の方でもそういういろんな会議が行われるので、会議録というものを見て参加するようにはしてはしまして、附属機関と言われる会議にも、極力の議事録を見て参加させてもらってますが、今回、この子育て会議におきましては、会議録を作成しなければならない、公表しなければならないという要綱があるにも関わらず、されてなかったということがちょっと気になります。何も情報がないまま今日ここに参加はしたんですけど、以後、例えば欠席された方だとか、こういう子育て関係に興味のある市民の方たちへの情報発信としても、この要項違反になってるのかなと思うところではあるんですが、必ず議事録を作成して載せていく。

そして、ホームページ見ますと、日時、場所、議題は7日前に公表しなければいけないという要綱がございましたが、これも最新が3月27日の会議に止まっております。前回のままでしたので、これを指摘事項というか、今後のために子育て会議はこのメンバーの皆さんたちだけではない、皆さんの目を向けてほしいというのがあるのであれば、犬山の子育てが注目されるってことであれば、皆さんに情報を開示していくという意味でも、この議事録というものをきちっと載せていただきたいなと思い、発言させていただきます。ちょっとその他になりますが、よろしくお願いします。

【関谷会長】

3月は私も会長しており、私も確認不足です。申し訳ありませんでした。

【事務局：青山】

大変申し訳ございませんでした。議事録とかであつたり当然この会議の開催については公表しなければならないものですので、我々の不手際であります。申し訳ございません。

【関谷会長】

よろしくお願いします。その他のところで何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。今回、資料を皆さんご覧になるのも今日で、その上でかつ、かなりの膨大な分量のことがあつたと思います。何かこれから次回の委員会までに何かお気づきの点とかございましたら、遠慮なくと私が言っていいかどうか分かりませんが、事務局の方に、お気づきの点等お伝えいただければと思いますけれども、よろしいでしょうか。

それに加えて、今回新しく計画を変えるというところの説明の中でも、これまでのニーズ調査とか統合の把握というのはすでに一応終えている形にはなってますけれども、策定をするにあたって足りない部分もあるかと思います。今回、意見も支援のあり方っていうものに関しても、切れ目がないのであれば、どうやったらこうみんながそこでできるかとか、繋がりの方か、新たなご提案というのも様々な

だきましたので、そういったものが少しこれまでの調査から動向が把握できないのであれば、また何か市民からも情報が得られるような、そういったすべを少し取っていただけるといいなと思っております。ちょっとタイトな中でご無理をお願いすることにはなるとはと思いますが、ぜひよろしくお願いいたします。

【関谷会長】

では、予定の議会が終了いたしましたので、ここで司会進行を事務局にお返しいたします。ありがとうございました。

【事務局：青山】

ありがとうございました、会議進行で委員の皆様のご協力によりまして、予定どおり会議を進めていただきました。

これで本日の議題を終了いたしますけれども、先ほど会長が申し上げたとおり、今回は事前に資料が配付されなかった中での開催でございますので、後日、お気付きの提案等ございましたら、何でも結構ですのでお声かけください。よろしくお願いいたします。それでは、最後に、子ども子育て監より挨拶を申し上げます。

【事務局：小幡】

本日はどうもありがとうございました。最後ご指摘があったとおり、会議録のホームページのことや資料の事前配布できなかった等、色々不手際があり本当に申し訳ございません。

多分、皆さん資料もたくさんあったので、思われたことをここで言いたいなと思っていたことがもしかして言えなかったことがあるかもしれません。また個人的にでも大丈夫ですので、ご指摘やご意見いただければと思います。

今回計画を新たに今までのをバージョンアップしてというか、第3期を盛り込んだ形でこども計画を作っていくということになっておりますので、またそこに関しても、こちらの方でこういうことを盛り込んでいきたいと話を先ほど申し上げましたけれども、またご意見をいただきながら進めてまいりたいと思います。

今年度は策定の年ですので、3回会議を行うこととしますので、また皆さんのご協力をお願いしたいと思います。本当にこどもたちのためでもありますし、子育て世代の方たちのためというところで、本当に社会全体で支えていければと思っておりますので、皆さんにお力をお借りしながら、ちゃんと実現できるような計画を作っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

【事務局：青山】

それでは、以上で本日の会議を終了させていただきます。皆様には大変お忙しい中、長時間の方にご協力いただき誠にありがとうございました。

お帰りの際は交通事故等に十分気を付けてください。

本当にありがとうございました。